



【おやつ(手作りどら焼き)】

【朝食】

年が明け、コロナとインフルエンザ患者数が増減を繰り返し、外来が忙しくなり待ち時間も延びている。重症化が減ったのは何よりだが、皆様引き続きご自愛を。

3年ごとの介護報酬の改定が今年春から始まる、ヘルパーさんへの若干の給与増額があるが、反面、他職種(ナース、ケアマネ)は、担当利用者さんを増やせば給与が増額できますよ。という内容だ。(しかし、世の中の給与増額分と比較すると、正直見劣りがする。)

介護サービスがあることで、高齢の父母の世話をしつつ、現役世代が仕事できる。それを支える介護スタッフへの報酬を十分に上げなければ成り手が減り、父母が十分な介護サービスを受けられず、現役世代が安心して仕事できない。このままではそうなるだろう。

それに対して今回国が介護スタッフに求めたのは、「生産性の向上」だ。つまり、少ないスタッフでより多くの要介護者の世話をしなさいという事。ITを用い、介護スタッフ同士の連絡を密にすること。介護サービス業者が大規模化をすすめること。確かに他の職種に比して介護サービスの「生産性」は低く、改善の余地は充分にある。ただし、物を作る「生産性」に比して相手は人間なので、「機械的な生産性アップ」には限界がある。

通所や訪問回数、週に入るお風呂の回数、ひいては 1 日に交換するオムツの回数など、どんどん減らせばよいというわけではない。なんとか知恵を絞って介護スタッフが燃え尽きない範囲内で、工夫していくほかない。

また、家族、利用者さん自身も努力が必要だ。ふらついて転倒をくり返す方は、日頃から自ら身体を動かす、食事内容に気をつけるなど、積極的に行動してほしい。少子高齢化が年々進行している事を実感するこの頃だ。他人事ではなく自分自身の問題だと認識して、行動変容につながるようなPRや教育が、本当に必要だと思う。



ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内秀俊



きれいにひっくり返すよ!!



美味しい朝食は皆様完食です😊

【レクリエーション】

【機能訓練】



節分会で鬼と記念写真



ボール投げて受け取って🎱

〈新人紹介〉

四季を感じながらできる訪問看護の仕事が好きで、この度2月から入職しましたSです。病気を抱えても自分らしく住み慣れた家で過ごしていく為に少しでも寄り添っていけるように頑張っていこうと思います。よろしくお願ひします。



ハーブ内科 検索

